

# 國學院大學学術情報リポジトリ「K-RAIN」

## 林陸郎先生の近世史研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国史学会 公開日: 2024-05-23 キーワード: 作成者: 根岸, 茂夫, Negishi, Shigeo メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.57529/0002000435">https://doi.org/10.57529/0002000435</a>

## 林陸朗先生の近世史研究

根岸 茂夫

日本古代史を堅実に先導された林陸朗先生は、学生時代卒業論文に近世史を選ばれ、私が入学する以前の一九六〇年代までは近世史料の講義を持つておられた。また先生は、若いころから在学生・卒業生を組織され、近世史の研究会を作られた。若木近世史研究会、忍領研究会、國學院大學近世史研究会などと名前を変えながら、近世幕府法令集の校訂、埼玉県行田市周辺・秩父の近世史料調査、群馬県西南部の近世史料調査などを続けた。そのような下で育った近世史の研究者は数多くおられ、須藤敏夫・南和夫・青山孝慈・大館石喜・長谷川正次・大谷貞夫・深井雅海・佐藤孝之の各先生のように、のち教授や講師として國學院大學で教鞭をとられた方々もおられたが、多くの卒業生は各地の中学・高校・大学、図書館・博物館・文書館などに就職され、実証的な研究を積み重ねて地域の歴史の掘り起こしに尽力された。かつ多くの方が、長く先生と連絡を密にしておられた。

戦後に先生は、岩橋小弥太先生から「これから歴史を学んだ國學院大学の卒業生が地方に帰って学んだ成果を生かすの

は、考古学と近世史料の研究であり、近世史の講座を作る必要があるのでやってほしい。もし君がやらないのなら私がやる」と要請され、近世史の研究・教育に力を入れたと、常々お話を伺った。戦後に全国の農村史料調査の中で新たな近世史研究が確立していく状況を、岩橋先生・林先生が的確に把握され、國學院大學史学科の発展を考えながら近世史の講座を立ち上げたという事情をお話され、史学科の発展には歴史学の研究動向を見通すことが必要と指摘されるとともに、若いころの学生たちとの思い出を楽しそうに語っておられた。先生は、御自身や先輩たちが創り上げた大学の近世史の伝統を継承・発展させるよう、近世史の講座を担当している私を諭されたのである。

一九七〇年代初めに大谷貞夫先生が國學院大學に着任され近世史の講座を担当されると、以後林先生は近世史の講義を持たれなかったが、七〇年代後半に一時大学院の近世史専攻の院生を指導された。私はその時に指導を受けた院生の一人だった。近世専攻の院生が含まれるとはいえ、先生の授業は『続日本紀』の演習であったため、私は欠席して図書館に居座っていたこともあった。あるとき「根岸は図書館の書庫に籠っているから呼んで来い」と呼び出され、赤面しながら授業に出たのはほろ苦い懐かしい思い出である。

先生は古代史研究で業績を積み重ねながらも、横須賀市の近

史料調査と史料集の刊行、『町田市史』近世編、『戸田市史』近世編の編纂など近世史研究に携わり、そこでも学生・院生や卒業生の史料調査や研究の能力を育てられた。ただ、近世史における先生独自の輝かしい研究といえば『長崎唐通事』（吉川弘文館 二〇〇〇年、増補版長崎文献社 二〇一〇年）であろう。

先生の先祖林公琰は近世初期の元和九年（一六三二）、明清交代の時期に中国福建省から来日し、大村のち長崎に移住した。二代目の林道栄（一六四〇～一七〇八）は儒学者・書家として江戸や各地に知られ、長崎では唐通事として活躍した。代々が唐通事・長崎町年寄を歴任しながら儒学者として各地の文人たちと交流があった。近世後期には一時鹿児島に移住しているが、幕末の当主林道三郎は明治になると神奈川県に訳官となって英和辞書の編纂に当り、初代の香港副領事を勤めている。先生は、林家の歴史を家伝の史料を精緻に解説されながら叙述され、さらに近世長崎の動向、外交・文化・学問の世界の中で位置付けられた。ことに道栄に関する論考は、唐通事の実像だけでなく近世前期の文化・学問を中国儒学の受容・日本化と長崎との関係などから論じられ、一般的な概説とは異なる近世文化を解明された点で極めて重要である。また曾祖父に当る道三郎が香港から帰国して自殺を遂げた叙述は、淡々としながらも先祖への想いの籠った文章である。

何度か近世史料の調査にお供したとき、先生が生き生きとして史料を手にとられ、調査や筆写をしておられたお姿は、大学の中ではお目にかかれなかった。林陸朗先生の近世史への想いを幾分だけでも汲み取りつつ、生前の御学恩に感謝し心より御冥福をお祈りする次第である。

#### 執筆者紹介

谷口 康浩	國學院大學文学部教授
山本 暉久	昭和女子大学名誉教授
川島 義一	國學院大學大学院特別研究員
本橋恵美子	練馬区地域文化部文化・生涯学習課 伝統文化係
榑原 功一	帝京大学文化財研究所講師
塚本 師也	公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター調査課副主幹兼課長
上村 正裕	東洋大学大学院博士後期課程
三輪 仁美	宮内庁書陵部編修課
谷 徹也	京都大学文学部・文学研究科助教
鈴木 靖民	國學院大學名誉教授
佐藤 長門	國學院大學文学部教授
田中 史生	關東学院大学経済学部教授
酒寄 雅志	國學院大學栃木短期大学教授
根岸 茂夫	國學院大學文学部教授